

登録コード	HM248202	開講年度	2026				
授業題目	医療生命科学特別研究					担当教員	安尾 将法
英文授業名	Research Thesis (Doctor's) in Health and Medical Sciences					副担当	
単位数	6	講義期間	通年	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	医療生命科学ユニット／1～3年次
講義室			授業形態	演習	備考	必須科目	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	(授業の達成目標)
	2026HM保健学分野初, 2025HM保健学分野初, 2024HM保健学分野初, 2023HM保健学分野初						
	【専攻】医学または保健学の研究に対する世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能					⇔	本講義を通じて動物実験に関わる方法論、倫理的側面、利点・欠点などについて説明できる様になる。
	【専攻】医学・保健学研究において基礎・応用・臨床の枠を越え、課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力					⇔	動物実験で得られた結果から何が言えるのか？臨床に直接外挿可能なのか？について解釈・判断できるようになる。
	【専攻】医学・保健学研究の専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を生み出す応用力					⇔	既報で何が判っているのか、課題は何かを見極め、新たな知見や技術を創造する応用力を発揮できるようにする。
(2)詳細/Detailed information	医療生命科学の高度な専門知識と研究・開発能力を獲得する。 また、その成果を学会発表し、博士論文としてまとめる。 ・研究テーマに関連する文献をはじめとする関連情報の収集能力を習得する。 ・研究テーマに関連する文献をはじめとする関連情報の分析能力を習得する。 ・研究結果を分析・評価する能力を習得する。 ・研究結果を英文論文として情報発信する能力を習得する。						
(3)授業の概要/Overview of course	動物モデルを用いた動物実験について、方法論、倫理的側面、解釈の方法などについて文献などを用いてセミナー形式で行う。						
(4)授業計画/Course plan	1) 研究テーマにそって文献調査および予備実験のデータを踏まえて実験計画を立てる。 2) 計画にそって実験を実施する。 3) 実験結果や調査結果をまとめ、その結果を評価・考察する。 以上のような研究サイクルによって研究テーマを発展させる。 その成果を学会などにおいて発表し、最終的には原著論文としてまとめる。 教員は、討論および研究方法の助言を通して研究推進をサポートする。 授業のねらいにしたがって、3年間継続的に研究を行う。 文献詳読、ディスカッションを通して1週間毎、1月毎に進行状況を確認・検討し、必要があれば順次、修正を行う。						
(5)成績評価の方法・基準/Grading/evaluation method/evaluation criteria	成績評価はセミナーでの発表内容につき以下の基準で総合的に評価をおこなう。 セミナーでの発表内容につき、 (1) 課題の設定が適切であり、 (2) その課題や論文の背景を説明出来ており、 (3) その論文にどのような課題があるのかを指摘出来ており、 (4) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法を適切に把握出来ており、 (5) その上で自分の見解を提示出来ており、かつ、教員を感動させるレベルにあれば「卓越している（秀）」と評価する。また、(1)～(5)の5項目を満たしていれば「かなり上にある（優）」、4項目まで出来ていれば「やや上にある（良）」、3項目まで出来ていれば「水準にある（可）」と評価する。 以上の結果を総合して、成績評価を行う。						
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・参考書/Notes/Prep work/Textbook(s)/Reference work(s)	1.事前学習について 課題となる論文を提示し、内容を理解し、当日発表させる。また、事前にe-Alpsにスライド原稿を載せます。 2.事後学習について 毎回、授業の始めに、前回の授業のポイントについて質問をしますので、復習をして授業に臨んでください。 本授業の単位修得には90時間の学習が必要であるため、以下のような学習時間を必要とします。 授業時間60時間（4時間×15回）＋自己学習時間30時間（2時間×15回）＝90時間 ※以上の自己学習時間を考慮して、事前・事後学習に意欲的に取り組んでください。						
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	個別の相談は、事前の連絡（e-mail：yasumasa@shinshu-u.ac.jp）によって随時、対応する。						
(8)授業の形式/Course format	実験及びセミナー形式 動物実験について様々な観点から討論する。 web会議システムによる遠隔授業を行う場合は、事前にアクセスID/パスワードを通知します。						